

ふたば

新潟大学の魅力と現在を発信

新潟大学季刊広報誌 [RIKKA]

2018.WINTER



NIIGATA UNIVERSITY
MAGAZINE

No. 23

授業紹介 - 教育の現場 -

学生の課外活動&サークル紹介 Enjoy! 学生ライフ

注目される研究報告

シリーズ 恩師と語らう

活躍する卒業生紹介 “学びの先”

OBOG・教員によるコラム

基金関係のお知らせ

Campus Information

魚沼に見る 地域医療の未来

特集



真の強さを学ぶ。



新潟大学



Cover Photo

新潟県中越地方の南東に位置する魚沼市。コシヒカリの産地としても知られるこの地域は県内有数の豪雪地帯。新潟大学魚沼地域医療教育センター魚沼基幹病院の背に八海山の悠然とした姿を臨む。

2018.WINTER vol.23

CONTENTS

03 特集

魚沼に見る地域医療の未来

08 授業紹介 -教育の現場-

Enjoy! 学生ライフ

10 注目される研究報告

シリーズ 恩師と語らう

13 活躍する卒業生紹介 “学びの先”

14 OBOG・教員によるコラム

15 基金関係のお知らせ

16 Campus Information

お知らせ 平成30年2月1日付け学長及び理事

学長	高橋 姿(再任)	濱口 哲(再任)
理事	企画・評価担当	大浦 容子(再任)
	教育・高大接続担当	高橋 均(再任)
	研究担当	牛木 辰男
	国際担当	川端 和重
	社会連携・財務担当	高比良 幸藏(再任)
	総務・労務担当	

『六花』とは…

本誌のタイトルでもある『六花』とは、本学の校章のモチーフである“雪の結晶”を表す言葉。本学の校章は、シンボルマークであった学生章をモチーフに本学名誉教授 小磯 稔氏がデザイン化したものです。



題字
野中浩俊(のなか ひろとし)氏
新潟大学名誉教授(教育人間科学部)。専門は、書道、富岡鉄斎研究。現在は、岐阜女子大学 教授

新潟大学SNS公式アカウントが更に充実!

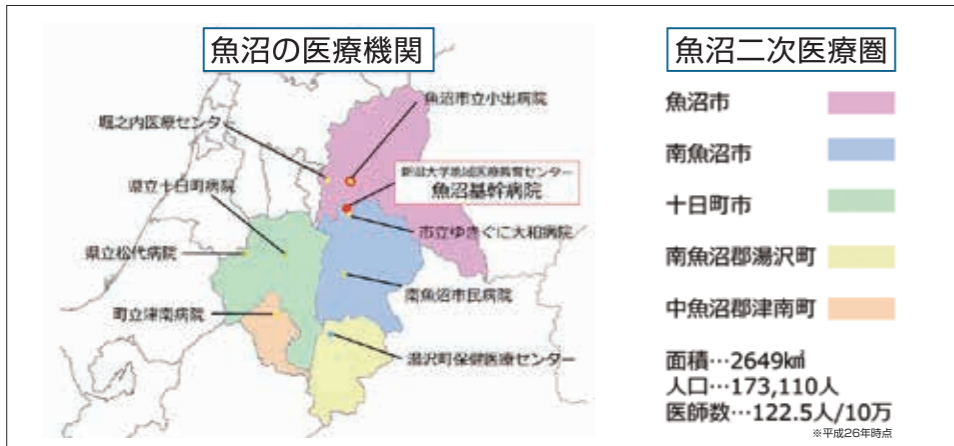
従来のfacebookに加えTwitterとInstagramも公式アカウントがスタート。更に本学の取り組みや普段の様子、フォトジェニックな風景などをお楽しみいただけます。



特集

魚沼に見る地域医療の未来

高齢化とともに医師不足を抱える新潟県魚沼地域。新潟大学は、新潟県からの要請を受け、魚沼地域医療教育センターや新潟地域医療学講座(寄附講座)を設置している。国立大学としての使命の一端である地域医療をどのように展開しているのか。本特集では多くの人に身近である老後を取り巻く地域医療に焦点を当てる。



医師不足を抱える魚沼地域での新しい地域医療のあり方

八海山、駒ヶ岳、中ノ岳という雄大な越後三山を仰ぎ、清流魚野川と破間川の辺に広がる南・北魚沼と、信濃川を囲む中魚沼の二地域から成る魚沼地域。国内有数の豪雪地帯であり、屈指の米どころとして広く知られている。高齢者が増加する中、医療需要のピークは今だと言われており、医師不足は県内で最も深刻なエリアでもある。魚沼市、南魚沼市、十日町市、湯沢町、津南町という約2,649キロ平方メートルのエリアは魚沼二次医療圏と呼ばれる。人口約17万人に対し、医師の数は約120人と少ない。2015年6月、魚沼基幹病院の開院に伴い、魚沼地域の医療再編がスタートした。これまでは、県立病院や市立病院を中心に地域の診療所と連携して地域医療に取り組んできたが、救急時や高度医療

「魚沼モデル」の中核を担う魚沼基幹病院

「魚沼モデル」の中核を担うのが魚沼基幹病院だ。院内には、新潟県からの要請により、新潟大学歯学総合病院魚沼地域医療教育センターが設置された。魚沼基幹病院と協力して、初期救急から高度医療までを貫いて教育、幅広い分野の診療や救急医療ができる総合診療医や総合診療能力を有する専門医を育成している。

魚沼から全国に発信できる 高齢者医療と地域医療の 実践的なモデルを作る



**地域の未来を担う
医療人の育成に
大きく貢献**

新潟大学魚沼地域医療教育センターの設置には、もうひとつの大きな目的がある。地域医療に携わる医療人の育成だ。研修医をはじめとした医療スタッフが集まりやすい仕組みを作り、魚沼地域の医師を増やす効果も期待されている。

「今年、初めて本学の医学部の卒業生が当院採用の研修医として魚沼基幹病院に来ます。研修

医の受け入れには厚生労働省の認可が必要ですが、開院間もない病院が対象となるのは珍しいこと。これも新潟大学の教員がスタッフだということで信頼されているのだと思います。また、研修医も救急の患者さんが多く、さまざまな症例に触れられるメリットを感じているのではと考えています。魚沼地域医療教育センターでは、診療だけでなく、新大の教員による指導環境が整っています。病院全体が、教育と研究機能を持っているので、現場の経験をふまえて論文を書き発表することができ



着実に医療のレベルアップにつながる成果が上がっています」

**新潟大学が担う
地域医療の
展望とは**

一定数の研修医がいて、コンスタントに論文発表ができる環境は、大病院そのものだ。

「新潟大学には分院があり、世界的な研究が行われていて、特に臨床研究なら本院に負けないくらいやっていると聞かれるように取り組まなければ。健康増進と疾病予防を目指し、地域に根ざした臨床研究を推進する。高齢化と医師不足を抱える魚沼地域で高齢者医療および地域医療の実践的なモデルを作ること。全国に発信できるものになりたいと考えています」

ます。これこそが新潟大学が関わる大きな意義です」

また、看護師や医療技術職員も病院を支えるきわめて大切な柱。医師同様、各自のキャリアデザインに沿った研修体制やワークライフバランスの確保など、魅力ある職場環境の実現にも力を注いでいる。

「実際の医療現場では多職種の連携が必須。症例検討会には様々な業種のスタッフが参加しますし、ドクター以外でUKBリサーチという研究発表会も行っています。これはおそらく全国的に前例がない。優秀な発表には表彰もします。医師以外の看護師、技師、リハビリ、事務スタッフのモチベーションにもなっているようです。魚沼基幹病院は開院から2年半が経ちますが、退職する新人看護師が少ないそうです。スタッフが向上心とやりがいを持って取り組んでいるということ。間接的ですが、



病院全体が、質の高い診療と教育、 研究機能を持つている。これこそが 新潟大学が関わる大きな意義

新大の医師による 高度医療の提供

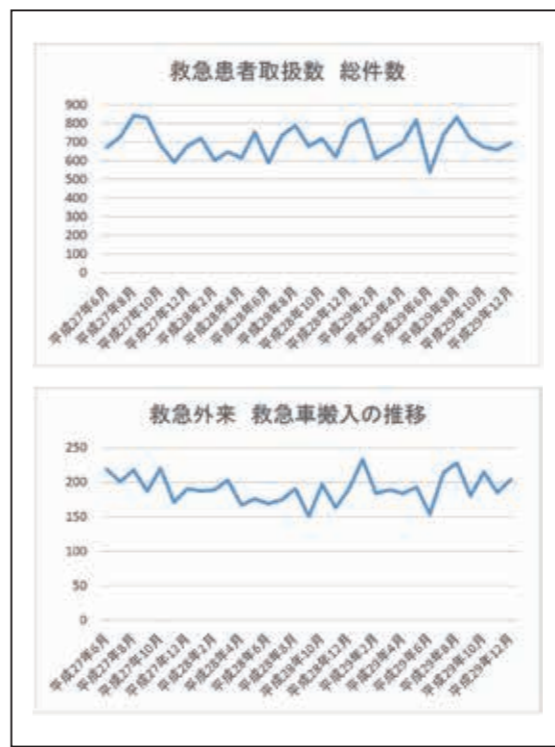
話を聞いたのは魚沼基幹病院副院長で、新潟大学魚沼地域医療教育センター長である高田俊範教授。

「魚沼基幹病院の役割はこれまで地域で十分に対応できなかった三次医療、高度医療を担うこと。三次医療とは生命に関わる重大な疾患や外傷を持つ患者に対応する医療のことで、高度医療とはがんや循環器病などの病気に対しての専門的医療のことです」



魚沼基幹病院 副院長
新潟大学魚沼地域医療
教育センター長
高田俊範 教授

これらの専門医療を実現するためにポイントになるのがスタッフの能



力。新潟大学魚沼地域医療教育センターの設置により同院には新潟大学医歯学総合病院の教員ポストを持つ医師たちが勤務している。

「各分野のプロフェッショナルが勤務し、ほとんどの病気をカバーできます。複数の病気を持っている患者さんに対応する総合診療科の病床数は、県下トップクラスです。長年にわたり米国で専門医として活躍している日本人医師も、魚沼基幹病院の一員として帰国しました。また、24時間救急外来をやっていることも大きい。大学のスタッフなので科の隔てがなく連携もスムーズ。医局の真ん中にテーブルを置き、そこで電子カルテを閲覧できるようにしました。こうすることで他の科の先生同士がお互いに顔を合わせられます」

以前は当該地域の重度な疾患を



持つ患者は長岡まで行かなければならなかった。魚沼基幹病院開院後の救急患者数は毎月700人前後、救急車搬送は200件前後と高い需要が伺える。同院屋上にはドクターヘリのヘリポートも備え、万全の受入体制を敷いている。

地域医療とは一人の医師が 人生の中のどこかで取り得る選択肢。 決して最先端ではないが、 まさに最前線といえるもの



先進地であり、厚生労働省の医系技官も研修に訪れる。地域医療を学ぶ環境が整っているのだ。学生は地域医療の特性を理解し、地域における包括的医療を実践するために必要な情報と基本的な技術・態度の習得を目指す。

「実習内容は、多職種連携による病棟回診の帯同や、訪問看護・診療・リハビリ、介護保険の主治医意見書作成など、院内外を問わず多岐に渡ります。地域医療におけるチーム医療の重要性について学習するのがねらい。実際に小出病院での実習を経て、病院に勤務する卒業生もいます」

下のグラフは学生の実習の事前事後の認識変化に係る調査結果。前期と後期を比較すると、地域医療に対する意識が肯定されていく様子がうかがえる。地域医療の進展は医師の地域偏在や医療費増加の解決策のひとつとなる。在宅医療や回復期慢性期病床におけるケアも効果的



地域医療のメッカで 医師を育てる

「地域全体でひとつの病院」を目指す魚沼の医療モデル。高度医療を担うのが魚沼基幹病院なら、「地域の主治医病院」を担うのが公立病院。回復期病床を中心として、訪問診療も行う。そのひとつである魚沼市立小出病院には、新潟大学の地域医療学講座（寄附講座）が設置されている。担当するのが井口清太郎特任教授。自身が十日町市の出身であり、新潟大学OBである。それゆえ魚沼での医療人育成には人倍熱意と信念を持って取り組む。

「地域医療というただ「べき地」医療を思い浮かべる人がいます。もちろんそれはひとつの側面ですが、私は同時に、病院外での活動を通して、地域や患者さんを包括的に診ていく医療の二形態と考えています。そのため、病院の外へ一歩踏み出すことが重要です。地域医療を実践していくためには病院などの医療機関だけでなく、行政や介護・福祉関係に携わる地域の様々な職種の人たちとの連携が求められるのです」

地域ニーズに 対応する 医療人が必要

平成22年度以降、「地域医療臨床実習」が医学部の必修になった。新潟大学の医学生は全て魚沼で学ぶことになる。魚沼は医療再編の



新潟大学大学院
医歯学総合研究科
新潟地域医療学講座
井口清太郎 特任教授

に実施できる医師は地域包括ケアの重要なプレイヤーだからだ。実習の有効性は注目すべき点だ。

また、医学研究実習では魚沼市における65歳以上の高齢者を対象にアンケート調査を実施。食事、飲酒、喫煙、地域への愛着、健康状態などの項目が盛り込まれ、「肉や野菜をよく食べる」「お酒が好き」「地域への愛着が高く、健康状態が良い」という結果を住民フィードバック、学会報告もする。

さらに地域医療魚沼学校と連携し、住民の健康増進活動にも取り組んでいる。

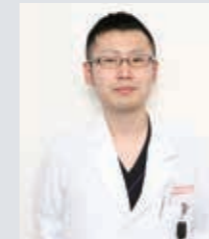
「極論を言えば、住民が健康なら医者数は少なくてもよいはず。その点でも住民への啓蒙活動は重要です。中学生を対象にした禁煙授業も行なっていますが、長い目で見れば40年後の医療需要を減らす一助になると考えています」

これまで延べ700人以上の医

本学の取り組みに対する地域医療現場の声

医学部卒業生からの声

学生の存在が
現場により緊張感を生む



魚沼市立小出病院
櫻井祐貴 研修医

私は学部生時代に小出病院での実習を経験しました。学生も参加する多職種回診は、それぞれの立場での問題点を検討できる場であり、地域の病院だからこそできるメリットだと思いますが、学生の存在はスタッフにより緊張感をもたらしていると思います。私自身、学生に説明することで自分の考えを整理することができます。また、学生にとっても、「ひとつの病気ではなく一人の患者を診る」という視点を体験してもらうことは非常に大切だと考えています。

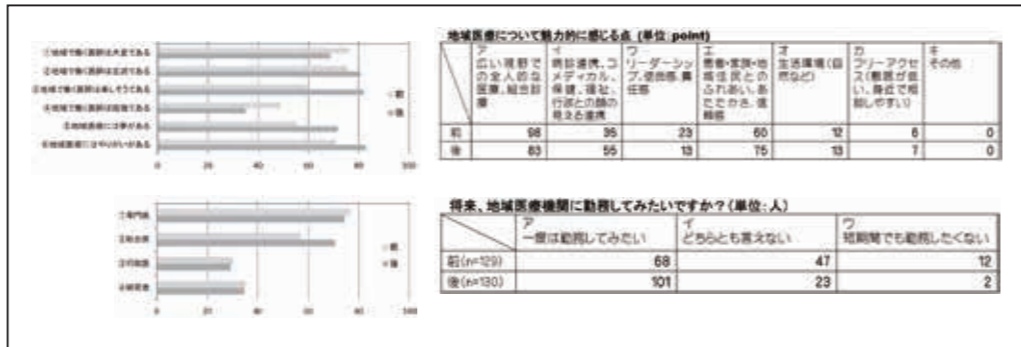
病院からの声

医学部生は多職種連携の
触媒として非常に重要



魚沼市立小出病院
布施克也 病院長

地域医療における重要なキーワードは多職種連携です。最近は地域包括ケアという言葉で説明されますが、要は患者さんに病気や不自由があっても生活できるような体制をつくること。そのために小出病院では多職種によるカンファレンス回診を採用し、そこに医学生も帯同します。多職種がプレゼンし、互いの立場の考えを理解することは、質の高い医療提供において重要で、学生はある種の触媒です。学生が分からないと言えばみんなが丁寧に説明する。それが互いの理解を深め、意見交換をスムーズにしています。



学部生が魚沼で学び、そのうち数名は小出病院で勤務。他にも厚生労働省などの官公庁で活躍して卒業生も多くなる。

魚沼モデルが 地域医療の 大きな指針に

近い将来、更に厳しい高齢化を迎える日本。地域医療という視点をなくしては、高齢社会への対応を語ることはできない。

「医師個人の視点から見ると、地域医療という分野は、一人の医師がその医師人生のどこかで取り得る選択肢であろうと思います。地域医療とは、決して最先端ではないが、まさに最前線といえるものです」

取材の最後を締めくくった井口教授の言葉をもって、本特集の結びとしたい。新潟大学が大きな役割を担う魚沼の地域医療モデルは、今後日本が進むべき道において、大きな指針となるはずだ。

Enjoy! 学生ライフ

新潟大学の学生は、勉学のみならずサークル活動を始め様々な課外活動で活躍しています。このコーナーでは、そんな青春の1ページをお届けします!

CAMPUS TOPICS

「地域と学校パートナーシップ事業(新潟市立五十嵐小学校)」に学生たちが協力しました

昨年11月18日(土)、五十嵐小学校にて、新潟市が推進する「地域と学校パートナーシップ事業」が実施され、学生団体 CANs と創生学部の学生たちが協力しました。

子どもたちの自己肯定感の醸成を目的とする CANs は、全校児童の約750人による2万個のドミノ倒しを実施しました。学生から励ましやサポートを受けながら、子どもたちは、自分の力で一つひとつ慎重にドミノを並べ、最終的にドミノが全て倒れると、会場は歓声に包まれ達成感を味わっていました。



6年生を対象とした地域を考えるワークショップでは、創生学部の学生たちがサポート。「五十嵐地区が笑顔あふれる、あいさついっぱい地区になるには?」のテーマの下、グループの輪に入ってファシリテーター役を務めました。子どもたちが素直に意見を出しやすく、かつ意見が深まるよう奮闘し、子どもたちの活発な意見が飛びかう賑やかなワークショップとなりました。

第2回 NIIGATA ビジネスアイデアコンテストにてグランプリ及び準グランプリを獲得



昨年11月19日(日)、新潟日報メディアシップにて、第四銀行、新潟三越伊勢丹、JR東日本新潟支社の連携により開催された「第2回NIIGATAビジネスアイデアコンテスト」の学生部門において、本学の学生が昨年に引き続きグランプリ、そして今年は準グランプリも獲得しました。

新潟県内の大学生からビジネスアイデアを募り、優秀なプランは事業化に向けたチャンスが得られる学生部門では、選考の結果、本学教育学部のチーム「ありがとう隊」のプラン「新潟特産品の若者向けブランドの確立～化粧品「越紅」の提案～」が栄えあるグランプリに輝きました。新潟

県内の特産品や特徴を用いた化粧品を作るという、新潟への愛情と情熱に溢れた商品コンセプトに特に高い評価が集まったそうです。

なお、準グランプリには、本学経済学部生のプラン「未来を創る新潟塾 夏休みプロジェクト」が選出されました。

CIRCLE PICK UP!

にいがた総おどり連 新舞

「うまさよりも全力で」踊りで新潟を元気に!

新大祭やオープンキャンパスなどのサークルパフォーマンスにおいて一際大きな声とインパクトのある踊り「よさこい」で行き交う人が足を止めるのが新舞。部員80人が毎週西区の公民館を中心に練習を行っている。「メンバーの仲間良く「うまさよりも全力で」を合い言葉に学年の枠を越え、全員が全身全霊を注いでいます。自分たちの演舞の披露だけではなく「次の世代の子供たちのために良い世の中を創る」というにいがた総おどり祭の志を受け継ぎ、地域の方への踊りの指導や当日の運営も行っていきます。学生のみならず社会人や子供たちと踊りを通して交流する中で、オープンマインドなコミュニケーション能力を身につけることができます」



部長 佐々木 美祈さん (教育学部2年)



↑オープンキャンパスなどの学内イベントのみならず、新潟市で開催される全国から15,000人の踊り子が集結する「にいがた総おどり祭」の運営にも携わる

印刷とWebで楽しい情報発信をしませんか?

チラシ・DM ポスター 冊子 Web SNS・ブログ

http://www.sksp.co.jp/

株式会社ウイザップ WITH UP CO., LTD.

本社 〒950-0963 新潟市中央区南出来島2丁目1-25 TEL.025-285-3311 FAX.025-285-5656

東京支店 〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目22-21 センビル芝大門3階 TEL.03-3431-3058 FAX.03-3431-3059

青柳かおる 准教授

Kaoru Aoyagi

Profile
博士(文学)。専門はイスラーム思想史。古典時代のスーフィズム、神秘主義を研究。



古典語B

アラビア語の文法を学び、文章を読むことにより、アラブ文化やイスラーム教の理解に役立てる

担当教員の青柳かおる准教授の専門はイスラーム思想史。約900年前の思想家ガザリーを中心に、アラビア語の二次資料を読みながら、古典時代のイスラーム神学・哲学・神秘主義(スーフィズム)の思想史を研究する。

学生たちが講義で最初に学ぶのはアラビア語の初歩文法だ。アルファベットを覚えることから始め、続いて名詞、形容詞、動詞、派生形などの初歩文法を身につけていく。教科書の練習問題などを通して、最終的には母音符号のついたアラビア語を読めるようになることが目標だ。

STUDENTS VOICE



右:澤栗菜生さん(人文学部2年)
左:佐々木若菜さん(人文学部2年)

「少人数の講義なので、先生への質問がしやすいです。宗教学に興味があるので、しっかりとアラビア語の基礎を身につけて役にたたいです」(澤栗) 「アルファベットや母音の数などが英語などの慣れ親しんだ言語と全く異なることが驚きでした。毎回出る課題をしっかりこなすことで、力がついていくことを実感します」(佐々木)

「講義では毎回宿題や練習問題、小テストを課しています。少人数の講義ですから、できるだけ細かく指導し、限られた時間で学生の力が向上するように指導

をしています。アラビア語の習得をねらいとしています。アラビア語は宗教や歴史を学ぶ上で重要な知識であると同時に、将来、アラブ圏に旅行や仕事に行く際にも大変役に立つはずですよ。異文化への知見とコミュニケーションの力を育てる上で、も有益な時間にしてほしいと思います」



意欲ある学生が伸び伸びと勉学に勤しむ

授業紹介

—教育の現場—

専門的な知識や技術の修得と、均整の取れた知識の獲得は教育の重要な役割。約5,000科目の中から特色ある授業を紹介。

vol.22・人文学部

です。また、文法は英語とは相当異なる上に、複雑な動詞の活用や派生形を暗記しなければなりません」

「古典アラビア語と現代アラビア語にはあまり違いがありません。つまり、アラビア語を学べば、古典時代の文献も読めるのです。本講義ではアラビア語の初歩文法の習得をねらいとしています。さらに一歩進んでアラブ文化やイスラーム教の理解に役立てることもねらいとしています。アラビア語は宗教や歴史を学ぶ上で重要な知識であると同時に、将来、アラブ圏に旅行や仕事に行く際にも大変役に立つはずですよ。異文化への知見とコミュニケーションの力を育てる上で、も有益な時間にしてほしいと思います」



をしています。アラビア語の書き方も重視しており、正しい書き順で書いているかどうかをチェックしています」

システム開発
システムコンサルティング
Web サイト制作

株式会社シアンス

〒950-0088 新潟市中央区万代 2-3-16 リバービュー SD ビル 10F TEL 025-246-4666 FAX 025-246-5777
MAIL info@siance.co.jp http://www.siance.co.jp 詳しくは HP へ

人文社会・教育科学系 (教育学部)
土佐幸子 教授



Profile | 博士(教育学・理学)。物理教育の国際比較を通し、学習者主体の教授法について研究する。

研究
課題

探究的指導法を軸として高校物理授業の 課題点を明らかにする4カ国比較研究

自主的で対話的な学びのための教育とは？ 授業の改善を図る方略を提言する



中国のやり方は非常にトレーニング的で、教師が一方向的に教えたことを生徒が復唱するようなもの。この対極にあるのがアメリカで、自由な雰囲気の中で生徒が自主的に質問をするようなスタイルでした。さらにインドネシアでの調査を加えることで、先進国と発展途上国の比較検討もしています」

興味深いのは中学校理科において、アメリカより日本の方が探究的な授業をしているという、予想に反する結果が先行研究で示されたことだ。

「確かに仮説・実験・検証という点に



↑米国の高校物理授業の様子



↑中国の高校物理授業の様子



↑インドネシアの高校物理授業の様子

科学的な知識は世界共通だが、教育の手法は知識と生徒の間に教員などのステークホルダーが多数介するため国により全く異なる。自国での教え方が決して唯一のものではなく、必ずそこには改善点が見つけられるはず。土佐幸子教授は、日本・アメリカ・中国・インドネシアの4カ国で行われる高等学校物理の授業比較を通して研究を進める。

「調査ではビデオ撮影を含めた授業参観と教員インタビューを実施しています。教員の科学的概念の説明や発問の仕方、教員の意識などを詳細に検討・分析し、各国の特徴を明らかにするのです。例えば、

おいて日本では十分な授業が行われていました。しかし、生徒と教師の関わり方の数値はアメリカより少なかったのです。このような中学校における分析結果を基に、今度は日本の高校物理における授業デザインの欠如について原因を探り、授業の改善を図る方略を提言しようと考えています」

自主的で対話的な学びをするためにふさわしい教育とはどのようなものなのか。それは将来的にどのような人材を育成するのが国のためになるのかという問いでもあり、土佐幸子教授の真のねらいはそこにある。

「現在、日本の教育はアクティブ・ラーニングに力を入れていて、アメリカ寄りの人材育成を目指しています。21世紀の世界を鑑みた場合、確かにこれは正しい方向性でしょう。しかし、平均的な学力の向上に貢献してきた日本式スタイルを捨てる必要はありません。日本は異なる文化でもよい面は積極的に受け入れてきた歴史的・社会的な背景があります。教育の現場比較を通し、各国の優れた点を取り入れ授業に反映していくことが重要だと考えています」

授業内で観察された要素の頻度比較 (日本物理学会誌72, 39-43, 2018に掲載)

	米国 (N=7)	中国 (N=16)	日本 (N=16)
生徒同士の話し合い や生徒からの質問あり	2	6	2
あり	7	1	14
生徒からの質問なし	5	3	10
質問あり	2	5	0
問題演習あり	5	3	3
あり	4	8	7
教師からの質問あり	3	0	0
質問なし	3	3	7
質問11-30回	1	2	2
質問31-50回	1	4	1
質問51回以上	0	1	0

自然科学系 (農学部)
吉川夏樹 准教授



Profile | 博士(農学)。専門は農業土木、農業水文学。シミュレーション技術を駆使し、農業と水に関する研究を行う。

研究
課題

田んぼダムによる洪水緩和

流域と一体になった新たな治水対策 その制度のあり方についても研究

シミュレーション技術や地理情報システムを駆使し、農業と水に関する課題の解決策を見出すために研究を進める吉川准教授。取り組むテーマのひとつが田んぼダムによる水害対策だ。

「地球温暖化や都市化の進展、農地面積の減少により水害の発生確率は増加しています。しかし、ダムや堤防建設などの治水事業には莫大なお金と時間がかかります。そこで流域と一体になった新たな治水対策として田んぼダムを提唱しています。田んぼダムとは、水田落水口の断面積を縮小し、大雨時に水田からのピーク流出量を抑制する仕組み。雨水を田んぼに貯留することで、排水路の流量を抑え、洪水被害を軽減することができます」

田んぼダムは面的に広がる水田を利用するので、大きな効果が期待される。また、落水量調節装置は1個あたり数百~数千円で製作でき、コストが小さいことも特長だ。

「設置が非常に簡単なので高い即効性があります。2016年現在、新潟県内の水田では、約12,000ヘクタールで取り組まれており、県外でも普及しつつあります。平成23年の新潟・福島豪雨では白根地区で約167万㎡の水量を調節しました。見附市の刈谷田川遊水地の貯水量が235万㎡ですから、十分な成果だと言えます」

一方で、その普及には課題が多い。設置や維持を支援する仕組み作りが重要と指摘する。

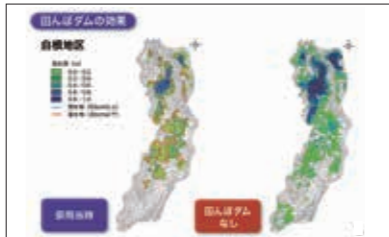
「田んぼダム自体は農家に大きなメリットはありません。そのため、取り組みの普及には農家の負担軽減や行政による支援が必要だと思います。私たちは開発や効果の検証のほか、制度のあり方についても提案しています」

水害対策だけでなく、国益の点からも農地保全は重要と語る。

「今後、世界人口はどんどん増えていきますが、農地面積には限りがあります。近い将来に水と食料が高くなる時代がやってくる。水田は5年放置すると使えなくなるので、農地資源を管理しておく必要がある。田んぼダムは将来の食料安全保障の意味からも効果的だと言えます」



↑吉川准教授が開発した田んぼダム用の水位調節管



↑平成23年の新潟・福島豪雨のシミュレーション結果。田んぼダムの効果を視覚化した



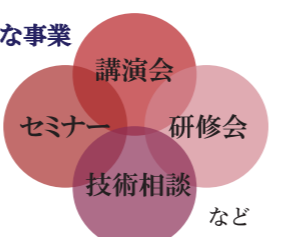
↑フィールドでの調査結果をシミュレーション技術を使い検証する



新潟大学の特色ある研究トピックを紹介!
注目される
研究報告
新潟大学では、伝統的な学問分野を継承するとともに、専門分野を超えて連携し合う研究や、先端的な研究など、真理探究や社会の発展に貢献する研究を行っています。

新潟大学産学連携協力会

新潟大学地域創生推進機構と産業界等が密接に連携し、産業の活性化、高度化、地域社会の発展を目的に技術の向上及び地域連携を図ります。



詳細をお知りになりたい方、加入ご希望の方は、ホームページをご覧ください。新潟大学産学連携協力会 検索 <http://www.irep.niigata-u.ac.jp/kyouryokukai/>

お問い合わせ先 新潟大学産学連携協力会(新潟大学地域創生推進機構内) TEL 025-262-7553 FAX 025-262-7577 Email unico@ccr.niigata-u.ac.jp

新しい未来を、Denkaから。





キリン株式会社事業創造部
兼 キリンホールディングス株式会社
グループ経営戦略担当
若井晋平さん
Profile.
1987年、新潟県長岡市生まれ。
2010年、法学部卒業。同年4月、
麒麟麦酒株式会社入社。2016
年より現部署に所属。



1 事業創造部で展開する新ブランドiMUSEの商品ラインナップ 2 その中でもiMUSE Professionalは、病院内売店やクリニック、薬局で販売されている



“学びの先”

活躍する卒業生紹介
新潟大学で“真の強さ”を学び、
社会に羽ばたいた10万人を超える卒業生。
社会で活躍する卒業生をご紹介します。

新しいビジネスが社会に新しいカテゴリを作る

「新しい挑戦への欲求が常にある」
ロフエシヨナルだ。医師・
薬剤師をはじめとする医
療関係者のアドバイスを受
けて開発され、病院内の
売店やクリニック、調剤薬

「新しい挑戦への欲求が常にある」

昨年9月、キリングルー
プが展開をスタートした新
ブランド、iMUSE(イミュー
ズ)。独自素材のプラズマ乳
酸菌を配合したシリーズ商
品として清涼飲料、ヨーグ
ルト製品、サプリメントな
どを展開している。伸長す
る乳酸菌市場だけでなく、
健康意識の高まりへも焦点
を当てた同社期待のプロ
ジェクトだ。

同ブランドの医療機関流
通サプリメントが iMUSE
Professional (イミネーズ
ブ)

局などの医療機関等の中
心として販売。2粒あた
りプラズマ乳酸菌を約10
00億個配合したヨーグル
ト風味の栄養機能食品。
メインで担当するのが若井
晋平さんだ。

「私は戦略の立案から実
行まで担当しています。
商品戦略、企画、マーケッ
ティングだけでなく、販促ツ
ール作成、商談まで行いま
す」

キリン入社は専攻をい
かし法務部への配属。その
後、異動先のキリンビール

「人がまだやっていないこ
とをやりたいという欲求が
常にあるんです。挑戦し
て見れば、達成するのはと
ても楽しい。この考え方の
基礎を作ったのは在学中の

営業担当として現場経験
を積み、全国トップの新規
顧客開拓成績を取めた。
現在はグループ社長直下の
部署である事業創造部で、
先述の業務を担う。重圧
のかかるポジションだが、
若井さんはその状況自体
を自分の糧にしているよう
だ。

「人がまだやっていないこ
とをやりたいという欲求が
常にあるんです。挑戦し
て見れば、達成するのはと
ても楽しい。この考え方の
基礎を作ったのは在学中の

経験がもしもありません」
学生時代のアルバイトは
塾講師。よい授業をする
と高評価された。目に見
える成果と実績は自信に
なる。また、在学中、企
業の長期インターンシップへ
の参加も大きな意味があっ
たと語る。

「全てが自分のブランド
価値を高めるために必要
だったんだと思います。学
歴だけでは測れない自分だ
けのストーリーや経験を欲
していた。それは今でも変
わりません。iMUSE pro
fessional は健康をテーマ
に、本当に良いものを世の
中に届けたいという想いで
作ったブランドです。売上
ありきではなく、価値が
伝わるのが重要です。
本当に良いものが適正な価
値で評価される必要があ
ると考え、そのために新し
いカテゴリを作ったいき
たと思います。キリンが世
界で初めて発見したこの素
材で、誰にもできないチャ
レンジをしたいです」

Information

キリン株式会社
<http://www.kirin.co.jp/>
iMUSE専用ページ
<http://www.imuse-p.jp/>

卒業生と母校との絆、ポケットに「新潟大学カード」入会受付中!

新潟大学全学同窓会では、新潟大学の発
展を支援し、学部間の枠を超えた同窓会員へ
のサービスと連携を深める目的で、三菱UFJニ
コスと提携してクレジット機能付きVISA国際
カード「新潟大学カード」を発行しています。

新潟大学カードに関するお問い合わせ先

新潟大学全学同窓会事務局
電話:025-262-7891
(受付時間 平日10:00~15:00)
E-mail:n-doso@adm.niigata-u.ac.jp



シリーズ vol.22 恩師と語らう

師弟で懐かしむ当時の新潟大学



坪川 小林君は研究室在籍の3
年間で論文を6本書きました。
これは今の学生にはとてもできな
いこと。高田さんが4年次にした
学会発表の内容は特許にもしま
した。ふたりとも熱心に勉強し
た印象深い教え子です。

小林 実験はやつたけど勉強した
という記憶はありませんね(苦笑)
。先生はいつも穏やかでアット
ホームな研究室でした。

坪川 私はね、みんなの前では怒
らないようにしていたの。注意や
小言を言うときは常に「対一」。そ
の方が本人のためになるから。

小林 遅くまで残っている学生に
「明日できることは今日やるな」
とよくおっしゃっていました。実験
は焦らず落ち着いてやるのが大
切ですね。

高田 私の先輩が「明日やれる
ことは明日やる」とよく言っていま
したが、それは先生のお言葉だっ
たんですね。私の同期の中では先
輩の名言だと思っていました(笑)。
小林 正しくは「明日やれるこ
とは今日やるな」ですよ(笑)。

坪川 これは打ち上げの写真?
小林 こういイベントは先生が
音頭をとるんです。カニやおでん
を囲んでパーティーをしました。

高田 私の頃はパーベキューでした。
小林 女性が多いと華やかだ。
僕の当時はすぐ裸になる男ばっか
り(笑)。

高田 こんなに女子学生が多いの
は先生の研究室だけ。私の時は定

員オーバーで入るのが大変でした。
小林 僕らのころもそうですよ。
勝ち抜いて入ったんだから。
坪川 小林君の当時は腕力順、
今は成績順で合格です(笑)。
高田 それにしてもお酒を飲ん

んな研究室のネットワークが先生
を中心にできていた。だから僕た
ちは友だちがすごく多いんです。
坪川 高田さんの成績は機能材
料工学科の番でしたよ。レポート
もすごく丁寧で一生懸命。その内

容に僕は感激して、卒業後も保
管していたんです。「こんなレポ
トを書ける先輩が研究室にいたん
だぞ」と学生に見せていましたよ。
小林 素晴らしい!
高田 いえいえ、それは褒めすぎ
です。学生時代の研究が楽しかつ
たから、研究を仕事にしようと思
えました。坪川研究室の1年
がなかったら、今の仕事を選んで
いたか分かりません。

坪川 高田さんの頃は研究以外
で忙しくて、学生と顔を合わす
時間がなかった。あれは辛かったな。
やっぱり学生と過ごしていた方が
楽しいんです。彼女にフラれた、
デートした、お酒を飲み過ぎて
居酒屋に泊まったなんて学生もい
ました(笑)。それは小林君か(笑)。
小林 (苦笑) 優しい先輩にかわ
いがつてもらったおかげです。

高田 学会の打ち上げや卒論発
表の際は、OB OGの方が来て
くださってアドバイスをいただき
ました。社会人になってからも学
会で「坪川研究室の人だよ」と
と声をかけていただくこともあり
ます。私の写真に写っている方が
小林さんの写真にも写っているん
ですよ。

坪川 今日は小林君と高田さん
のつながりもできたからね。印刷
に困ったら小林、匂いに困ったら高
田に聞けばいい。くれぐれも働き
過ぎには気を付けて、「明日でき
ることは今日やるな」に能力を発
揮していつてほしいと思います。



坪川 今日は小林君と高田さん
のつながりもできたからね。印刷
に困ったら小林、匂いに困ったら高
田に聞けばいい。くれぐれも働き
過ぎには気を付けて、「明日でき
ることは今日やるな」に能力を発
揮していつてほしいと思います。



坪川紀夫
名誉教授

工学博士。専門は高分子合成、ナノ粒子表面改質、ナノカーボン材料、複合材料設計。昭和47年新潟大学工学部助手として着任。以後、助教授、教授として教鞭を執る。大学院自然科学研究科長、工学部長などを歴任し、退官後もフェローとして教育・研究に貢献する。



小林和久さん

昭和59年工学部卒業。昭和61年大学院自然科学研究科修了。現在は日本印刷株式会社執行役員。住空間CSセンター長。住宅内装部材の製造に関わる。



高田理紗子さん

旧姓山下。平成17年工学部卒業。平成19年東京工業大学大学院で修士課程修了。現在は花王株式会社で、商品の香り素材の研究・開発を担当している。

一学生の輝く未来を共に創るー 基金関係のお知らせ

地域の中核を担い国際社会で活躍する人材を輩出するため、「学生の修学支援」「国際交流」「教育施設整備」の推進を目指しています。

新潟大学まなび応援基金

経済的理由により修学が困難な学生に対する修学支援のための事業に限定して、ご寄附をお願いしております。平成28年税制改正により、上記の用途に限定した寄附に係る個人寄附者は、「税額控除」と「所得控除」のどちらかを選択することが可能となったことに伴い28年11月から募金活動を開始しました。

寄附目的と支援事業

右記事業のうちから支援の必要性の高い事業に活用させていただくこととし、寄附者が支援事業を指定することはできません。

- 入学料、授業料又は寄宿料の全部又は一部を免除する事業
- 学資金を貸与又は給付する事業
- 学生の海外への留学に係る費用を負担する事業
- TAやRAの業務を行う学生に対する手当等を負担する事業

平成29年度においては、「輝け未来!!新潟大学入学応援奨学金」及び「新潟大学修学応援特別奨学金」に支援を行います。



トピックス

平成29年11月15日、学長応接室において、「第四銀行『みらい応援』私募債～次世代・子どもサポート」による株ウオロクホールディングスから本学に対する寄附金贈呈式が行なわれました。(株ウオロクホールディングスからの「修学支援のために活用してほしい」との想いから、「新潟大学まなび応援基金」に受け入れました。また、この私募債を通じて株リアルト・ハーツからもご寄附をいただいております。同じく「新潟大学まなび応援基金」に受け入れました。

寄附者名簿

- (H29.9～H29.12寄附入金分) ※50音順 敬称略
- 〈個人〉 石田 武裕 高橋 優太 田代 文俊
 中山 輝也 逸見 和宏 家後 輝雄
 家後 眞澄 吉塚 康一
 匿名希望者 2名
- 〈団体〉 株ウオロクホールディングス
 株リアルト・ハーツ

新潟大学基金

「新潟大学基金」は、「新潟大学まなび応援基金」で行う事業以外の、全ての事業を推進するためご寄附をお願いしております。寄附者が教育活動の支援、学生の修学支援、研究活動の支援、キャンパス等施設整備の支援、病院運営の支援、大学全体の支援など寄附目的を指定することができます。

寄附者名簿 (H29.9～H29.12寄附入金分) ※50音順 敬称略

- 〈個人〉 五十嵐 大輝 石田 武裕 大桃 祐介 加澤 正樹 小林 慶彦 佐藤 距美子 鈴木 保 袖野 強 高木 広道 高橋 修平 鳥羽 雅英
 富岡 清嗣 畠山 貴明 原 隆栄 増家 美香 三浦 浩子 柳本 雄司 山田 正一 吉川 園子 渡辺 浩匡 匿名希望者 10名 匿名希望 1名
- 〈団体〉

新潟大学サポーター倶楽部

継続して新潟大学を支援するため、倶楽部年会費の全額を「新潟大学基金」に寄附することとし、平成28年3月に設立しました。企業・団体を中心に入会をお願いしております。また、会員への情報発信により、新潟大学と会員及び地域社会との連携と発展を目指しています。

寄附者名簿 (H29.9～H29.12入会申込分) ※50音順 敬称略

- 〈個人〉 根津 英美 福田 逸人
- 〈団体〉 東北電力株 ナミックス株 新潟県厚生農業協同組合連合会 新潟交通株
 日本海エル・エヌ・ジー株 株富士通新潟システムズ 株マルゴシステム

新潟大学古本募金

新潟大学古本募金は、皆様から読み終えた本・DVD等をご提供いただくと、その査定額が新潟大学に寄附される取組です。寄附金は学生の修学支援をはじめとした事業に役立てられ、平成29年2月から募金活動を開始しました。

- 募金方法**
- ★学内(図書館、総合教育研究棟、第1学生食堂、大学会館他)に設置された回収ボックスに入れる。
 - ★5点以上を段ボール箱に入れ、取り扱い業者に電話(嵯峨野(株)TEL.0120-29-7000)で回収を依頼する。(詳しくは、パンフレットを参照してください。)

寄附者名簿 (H29.9～H29.12寄附入金分) ※50音順 敬称略

- 〈個人〉 粟生田 忠雄 阿部 良一 安藤 泉 安藤 淳一 稲葉 治久 北村 敏春 佐藤 隆 澤田 公和 柴野 進三郎 鈴木 敦士 田村 秀 外山 健蔵
 頓所 敦彦 ハドリ 浩美 深澤 仁 藤田 茂治 フナヤマ マサミ 堀江 幸郎 本間 健文
- 〈団体〉 にいがた環境プロジェクトROLE 匿名希望者 1名

問合せ先 **新潟大学サポーター連携推進室** 【TEL】025-262-5651・6010・6356 【e-mail】kikinjimu@adm.niigata-u.ac.jp
 【HP】http://www.niigata-u.ac.jp/university/donation/

新潟大学 古本募金

読み終えた本が募金となって 学生の修学支援などに役立てられます

「新潟大学に寄附したい」とお伝えください

お申込み

新潟大学古本募金

0120-29-7000

(受付) 9～18時
 (運営) 嵯峨野株式会社 〒358-0053 増玉県入間市仏子 916 増玉県公安委員会 古物商許可証 第431100028608号

企画 新潟大学サポーター連携推進室

TEL. 025-262-5651, 6010

真の強さを学ぶ。

新潟大学

今回のテーマ 『スポーツ漫画における卒業の考察』

漫 画の中でもスポーツ漫画が好きで、特に高校スポーツものに目が合わない。なので、卒業をテーマに何か書くとなると、もうその登場人物たちが部活を引退していくシーンしか思い出せない。そもそも人気作品になればなるほど、高校生である主人公たちは卒業しない。連載が終わってしまうから。ISAMIDUNKなんて、僕が中学一年の時に連載が始まって、高校三年の時に終わったけど、作品内では五ヶ月程しか経っていないので、気づいたら全バスケット員より僕の方が年上になっていた。

しかし、主人公たちの学年はなかなか卒業も引退もしないけれど、先輩たちは引退していく。入部して全然ついていけない地獄のような練習を、楽々こなす先輩たち。その猛練習のあとに、こっそり個人練習を続けていた先輩たち、県大会の決勝で一年生である主人公たちの大活躍もあって全国行きの切符を掴む先輩たち、その憧れの全国大会で主人公の来年以降のライバルになる他県の一年にあっさり負けてしまう先輩たち。全国大会が終わわり、そんな先輩たちが、「これから

はお前たちの番だぞ」と言って部室を去るシーンが、僕はたまに好きなのである。

柔道漫画の最高傑作「柔道部物語」では、主人公たちの一年上の先輩たちが、インターハイを終え、後輩たちが練習する道場を眺めながら「こんな早い時間に帰れるなんて、嘘みたいだな」「そんなじゃい、ラーメン食って古町ぶらついて帰るのか」といってソロソロと校舎を後にする。その去り際のカッコよさに、とにかく憧れた。

高校で剣道部だった僕も、そのシーンを再現したくて、最後の練習のあとに同じ学年のみんなを無理やり誘って古町の「白寿」でうま煮ラーメンを食べて、カラオケに行ってきた。そのときに、みんなと食べたらうま煮ラーメンがなんとも美味しくて、この瞬間のために半年半部室頑張ったよなもんだなあと思えた。

僕たちの剣道部は、全国大会に行くようなチームだったので、ほかの同級生たちは皆、なんとも卒業後の進路を決めていて、僕だけが行きたい大学すら決まっていなかった。

夏休みの間、受験勉強もせず色々考えたら、結局自分はスポーツそのものよりも、スポーツを題材にした青春漫画が好きだということに気づいた。いつも僕の目の前には本気で日本一を目指す仲間や先輩がいて、本当にスポーツ漫画の中にあるような三年間だった。

一浪して東京の大学に入学した僕は、どういうわけか漫画家ではなくプロレスラーになった。プロレスの世界はそれこそ、スポーツを題材に描いた青春漫画そのものだった。40歳にもなって、まだ大好きな漫画の世界にいれるなんてひっそりとして自分は幸せ者なのかもしれない。



夏休みの間、受験勉強もせず色々考えたら、結局自分はスポーツそのものよりも、スポーツを題材にした青春漫画が好きだということに気づいた。いつも僕の目の前には本気で日本一を目指す仲間や先輩がいて、本当にスポーツ漫画の中にあるような三年間だった。

COLUMN ◆ 新潟大学教員によるコラム

“知見と生活のあいだ”

本学教員がそれぞれの専門領域と日常の接点を題材に、日々の生活に通じる理論やアイデアを綴るリレー式コラム。第6回は経済学部です。

第6回 ● 経済学部 ロシアの住生活からロシア経済を研究する

ロシアの住生活に関する様々な情報をフィールドワークに基づいて収集し、その情報を経済学的に分析し、ロシア経済を動かすメカニズムに迫るといったのが私の研究スタイルです。昨年、幸いなことに約1年間の長期在外研究が可能な外部資金を獲得し、昨年からはロシアで研究をしています。

今年には「日本におけるロシア年」「ロシアにおける日本年」で、日ロ交流の発展が期待されます。このことにちなみ、私のロシア研究生活からロシアにおける日本の存在について、ここで少しお話ししたいと思います。

ロシアでも住宅のリフォームは大テーマで、毎週土日にテレビで放送されるリフォーム番組は人気番組です。日本製品は高品質でも高価格のため、洗面所や台所などの水回りにポイントを絞って、ここは日本製!と誇らしげに紹介されます。

地方で最近のロシア経済は、経済制裁、原油安、ルーブルの影響で景気が良くありません。日本製品を活かす分野は輸入コストの高い高品質を受け入れるため、厳しいところです。国産品の技術を上げて輸入品から国産品に代替する「輸入代替」の実現が、ロシアの課題です。

ロシアにも日本のツー・バイ・フォーに似たパネル(ロシア語でカルクスという)を使った木造住宅があります。安いものの評価は高くありません。低コストでかつ高品質をいかに輸入代替で実現していくかが、この分野の日ロ協力のカギとなります。ソ連時代に建てられた5階建の集合住宅(ロシア語でフルシチョフカという)は、老朽化が激しくロシア各地で大規模建替が必要となっています。日本の「団地」再生

を参考にしながら、ロシアの事情にあわせた資金調達、住民の合意形成の仕組みをもとに考えることが大切です。

ロシアで最も広く受け入れられた日本製品は、「スシ」かもしれません。スシの宅配も普及し、あらゆるスーパーでカリフォルニアロールを真似たロシア流の巻き寿司(ロシア語でロリリという)が手に入ります。日本のものと遜色ないにぎり寿司もありますが、柔らかな酢飯でまるめ、素材の味を消すかのように色鮮やかなこの「スシ」がロシアで定着した寿司です。コメはつけ合わせ野菜として食すロシア人にとって、私があるまったらし寿司の感想は「おいしいサラダ」でした。

ちょっと日本とは違いますがそれもよしとしよう! 日ロ経済交流の発展には、様々なロシアの特性に対する理解が重要です。その特性の解明に私の研究が少しでも役立てられれば幸いです。



道上真有 経済学部准教授
 専門はロシア経済。ロシアの住生活市場の視点からロシア経済の特徴について幅広く研究。安全や費用の問題で学生には近くて遠いロシアを、少しでも身近にしたいと思います。

↑ロシアの高級スーパーで販売されているスシ、日本食

新潟大学キャリアセンター

CAN システム

卒業生と新潟大学生をつなぐ、キャリア形成サポートの新しいカタチ! 卒業生と学生をつなぐ CAN システム

CAN システムとは Web 上のシステムを介して、学生の就職活動やキャリア形成をサポートしていただくシステムです。社会の先輩として学生たちの悩みや不安にアドバイスをお聞かせください!

OB・OGの皆様のご登録をお待ちしています!

お問い合わせ先 新潟大学キャリアセンター TEL : 025-262-6463 FAX : 025-262-7579 E-mail : job@adm.niigata-u.ac.jp

URL http://www.career-center.niigata-u.ac.jp

Campus Information

地域に密着しながら様々な活動が続ける新潟大学。皆さんにお伝えしたいニュースはたくさんあります。

「新大産学交流フェスタ2017～湧く和く、新潟発イノベーション～」を開催しました



産官学の交流の更なる深化を目指して、昨年10月31日(火)に、第2回「新大産学交流フェスタ2017」を五十嵐キャンパス中央図書館において開催しました。当日は、産学連携事例紹介や講演会、ショートプレゼンテーション、ポスターセッションを行い、企業や自治体等の関係者ら約170名が参加しました。

産学連携事例紹介では、企業の担当者と本学コーディネーターが、共同成果によって生み出された製品について、きっかけから成果に至るまでの過程をわかりやすく解説しました。続いて行われた講演会では、本学工学部の山崎達也教授が「データを繋ぎ、人をつなぐ～ビッグデータをめぐる新たな挑戦～」と題して最新の動向や今後の姿について講演し、来場した企業・自治体の方々や本学教職員が興味深く聞き入っていました。

ショートプレゼンテーションでは、研究者20名が各1分でポスターの内容を発表し、その後のポスターセッションでは、それぞれポスターの前で来場者からの質問や個別相談に応じ、研究の内容や今後の展望等について熱心に説明しました。

COC+シンポジウム「ワカモノが活躍できるNIIGATA創生に向けて」を開催しました

文部科学省の平成27年度「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に採択された、県内7大学、新潟県、新潟市及び関連の企業・経済団体とともに取り組んでいる事業『「ひと・まち・しごと」創生を循環させる NIIGATA人材の育成と定着』のシンポジウムを昨年11月14日(火)に開催しました。「ワカモノが活躍できる NIIGATA創生に向けて」をテーマに、当日は県内外の大学関係者や地元企業・経済団体、自治体から約200人が出席しました。

シンポジウムでは、本学 COC+推進センター長の阿部和久副学長から、これまでの中間報告に続き、一般社団法人日本事業構想研究所代表理事・東京農業大学教授の木村俊昭氏から「地域創生 事業構想と実現～地域を変えるチカラとは何か?～」と題した基調講演が行われました。その後、雪の日舎代表・移住女子フリーバーバー ChuClu編集長の佐藤可奈子氏から「若者ファーストが、若者を変え、地域を変えた」と題した事例紹介が行われました。

続いて、「ワカモノが活躍できる地域社会のつくりかた」をテーマにパネルディスカッションが行われ、各パネリストからの問題提起とそれに対する意見交換がフロアを巻き込んで行われるなど、盛会のうちに幕を閉じました。



AP事業テーマⅣ「長期学外学修プログラム(ギャップイヤー)」シンポジウムを開催しました



教育・学生支援機構連携教育支援センターは、昨年12月4日(月)に、新潟日報メディアシップにおいて、AP事業テーマⅣ「長期学外学修プログラム(ギャップイヤー)」シンポジウムを開催しました。

当日は、AP事業テーマⅣ採択校をはじめとする県内外の高等教育関係者、自治体・企業・経済団体関係者等およそ130名が参加し、事業3年目の中間年度の成果と課題を共有することにより、今後の事業推進に向けた有意義な会となりました。

シンポジウムでは、文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室の河本達毅改革支援第二係長から「大学教育再生加速プログラム～日本型ギャップイヤーと大学教育の質保証～」と題した基調講演が行われました。

続いて、テーマⅣ採択校の代表4校事業の中間報告が語られた後のポスターセッションでは、テーマⅣ採択校及び本学学生が参加し、各校の取組について活発な情報交換が行われました。

続いて行われたパネルディスカッションでは、本学のAP事業外部評価委員でもある大阪大学の川嶋太津夫教授、新潟経済同友会教育問題委員会委員長・株式会社シانس代表取締役社長の野口一則氏を加えて、前年度からの外部評価結果を起点に、本事業の成果と課題の共有、そして今後の事業推進について「持続可能性」をキーワードに白熱した議論が展開されました。



新潟大学
季刊広報誌



R I K K A 2018.WINTER No. 23

発行／平成30年2月
編集／新潟大学広報センター
(新潟市西区五十嵐2の町8050番地)
電話／025-262-7000
FAX／025-262-6539

Home Page <http://www.niigata-u.ac.jp/>
E-mail rikka@adm.niigata-u.ac.jp



新潟大学 Facebook
<https://www.facebook.com/niigata.univ>